

会 議 名	第1回 新潟市総合計画審議会第2部会（経済活力・交流促進）
開催日時	令和4年7月7日（木） 午後2時から午後4時まで
会 場	新潟市役所本館5階 全員協議会室
出席委員	【委員】出席10名、欠席1名 【事務局】政策企画部長、農林水産部長、政策調整課長ほか
主 な 議事内容	<p>(1) 部会長選出と職務代行者の指名 小宮山智志委員（新潟国際情報大学経営情報学部准教授）が部会長に選出され、部会長より池田のりこ委員（新潟公共職業安定所職業紹介第1部門統括職業指導官）が職務代行者に指名された。</p> <p>(2) 審議内容の説明 ○「都市と田園の調和を活かした持続可能な農林水産業の実現」の基本的方向について ・「儲かる農業」の実現と持続可能な農林水産業を目指す。 ・都市と田園の調和と地域コミュニティを創出する。</p> <p><新潟市の現状と将来を見据えた課題> ・農業は原油高や資材高などの外部環境に影響されやすい分野であり、高齢化や後継者不足が深刻である。 ・スマート農業の加速化や林業・水産業への対策も必要である。</p> <p>施策1 売れる米作りと園芸産地づくりの推進 ・「儲かる農業」に向けた農業生産基盤の整備・保全 ・生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進 ・意欲ある担い手の確保と育成 ・新たな需要に応える農産物の生産体制の強化</p> <p>施策2 農林水産業を活かしたまちづくり ・地域資源を活用したコミュニティの活力の創出 ・食と農への理解促進とシビックプライドの醸成 ・新潟の農水産物と食文化を全国に発信 ・林業と水産業の環境整備</p> <p>(3) 審議 <各委員からの主な意見> ・「儲かる農業」のイメージがわかるような記載を加えてはどうか。 ・将来を見据えた課題として、日本の人口減少による需要の減少、海外の人口増などを踏まえた、グローバルな観点からの記載を追記してはどうか。 ・国家戦略特区をタイトルとして、「大規模農業の改革」や「スマート農業の加速化」をぶら下げる形にしてはどうか。</p>

- ・意欲ある担い手等の確保について、ターゲットとなる後継者にどのように対策を講じていくのか補記してはどうか。
- ・新たな需要に応える農産物の生産体制の強化について、「需要はあるものの生産が著しく減少しており、それに対応するための支援を行う」という記載を補記してはどうか。
- ・所得拡大に向けた販売力の強化について、具体的な方向性や若者の意見を取り入れた SNS での広報など、もう少し記載を加えてはどうか。
- ・農林水産業を活かした新しい事業やアイデアに対し、柔軟に幅広くサポートしていくという方向性を表現してはどうか。

(4) 次回部会会議について

令和4年7月25日(月)

会 議 名	第2回 新潟市総合計画審議会第2部会（経済活力・交流促進）
開催日時	令和4年7月25日（月） 午前9時から午前11時まで
会 場	新潟市役所本館5階 全員協議会室
出席委員	【委員】出席8名、欠席3名 【事務局】政策企画部長、経済部長、農林水産部長 ほか
主 な 議事内容	<p>(1) 審議内容の説明</p> <p>○「地域経済に活力を生み出す産業の振興と雇用の創出」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新事業の創出やDXの支援、企業誘致や創業支援を通じて、企業の稼ぐ力を高め地域経済に活力を生み出し、市民所得の向上を目指す。 ・企業のSDGsや脱炭素などの取組を支援するほか、誰もが働きやすい職場の環境づくりを推進する。 <p><新潟市の現状と将来を見据えた課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民所得を向上させるために、中小企業の稼ぐ力を高め、市内総生産を改善する。 ・人口減少に伴う労働生産性の低下を防ぎ、デジタル技術の活用や事業継承の促進を図る。 ・起業や創業の促進と、多様な人材が活躍できる環境作りを推進する。 ・企業誘致を推進し、高機能オフィスを創出する。 <p>施策1 地域企業の持続的発展に向けた経営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化や複雑化する企業の経営課題の解決に向けて、セミナーやコンサルティング事業などで支援する。 ・企業のデジタル化や脱炭素化を支援し、競争力の強化を図る。 ・商店街など地域経済の持続的発展に向けた取組を促進する。 <p>施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業や創業しやすい環境づくりと、新規事業創出の支援をする。 ・企業のニーズを具体的に把握し、計画的かつ戦略的に企業誘致を推進する。 ・海外バイヤーとの商談機会を創出し、地域経済の活性化を図る。 <p>施策3 誰もがいきいきと働ける環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の働き方改革と多様な就労の機会を創出する。 <p>(4) 審議</p> <p><各委員からの主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内経済循環は「地域経済に活力を生み出す産業の振興と雇用の創出」だけではなく、「産業・交流」分野の中で生み出すことが重要という記載にはどうか。

- ・新潟市の現状と将来を見据えた課題の「多様な人材の活躍」において、若者の市外への転出超過解消への取組の記載を、企業誘致以外の要素も加えてはどうか。
- ・**施策1**の商店街の施策について、取組が将来に向かってどのように進んでいくのか具体的に表現してはどうか。
- ・**施策2**において、挑戦を促す環境づくりへの取組を記載するとともに、官民連携を含めた地域ネットワークの活用などの要素を加えてはどうか。
- ・**施策2**において、起業・創業及び新規事業創出に向けた取組などに対し、柔軟に幅広くサポートしていくという方向性を表現してはどうか。
- ・**施策2**において、もう少し具体的な方向性や表現など、内容を加筆してはどうか。
- ・**施策2**において、海外事業の重要性や輸出促進に向けた取組の方向性を加えてはどうか。

会 議 名	第3回 新潟市総合計画審議会第2部会（経済活力・交流促進）
開催日時	令和4年8月17日（水） 午前10時から正午まで
会 場	新潟市役所本館5階 全員協議会室
出席委員	【委 員】 出席8名、欠席3名 【事務局】 政策企画部長、観光・国際交流部長、文化スポーツ部長 ほか
主 な 議事内容	<p>(1) 審議内容の説明</p> <p>○「魅力と拠点性を活かした交流の促進」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナに適した観光スタイルを構築し、観光需要の回復と拡大を推進する。 ・姉妹・友好都市等と交流を図ることで信頼関係を強化し、国際都市としての発展を目指す。 <p><新潟市の現状と将来を見据えた課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市は、国内外の都市と航空路や新幹線等で結ばれており、拠点性の強化と交流人口による経済効果が重要である。 ・観光需要の回復・拡大に向けて、デジタル技術の活用、SDGsへの貢献といった視点での取組が必要である。 ・姉妹・友好都市を中心とした市民交流や、文化・スポーツ・食等をキーワードにした分野交流をさらに推進する。 <p>施策1 新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者へのおもてなし態勢を強化し、体験型観光を充実させ、古町芸妓をはじめとした「新潟ならではの」の魅力向上に努める。 ・国際会合等の誘致、みなとまち文化、マンガ・アニメ等、新潟の魅力を最大限に活用し、誘客を推進する。 <p>施策2 世界とつながる国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界各都市との交流を促進し、市民レベルでのグローバル・パートナーシップの活性化を図る。 <p>○「新潟暮らしの魅力発信と移住・定住の促進」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方移住に関心が高まっている中で、新潟市の暮らしやすさを発信し、定住や移住に向けた取組を行う。 ・若者の市内就労を支援する。 <p><新潟市の現状と将来を見据えた課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市内の企業の認知度が低いため、Uターン希望者増加を目指し、若者にアピールする必要がある。

- ・新潟暮らしの「住みやすさ」を活用しながら、移住・定住の促進に取り組むことが重要である。

施策1 多様な支援による移住・定住の促進、関係人口の創出

- ・SNS等を通じて、新潟暮らしの魅力を効果的に発信する。
- ・市内就労への意識の醸成や、市内企業を知ってもらうための取組を推進し、市内企業の認知度向上を促進する。
- ・新潟暮らしのPRや移住相談、移住検討者への情報提供を今後も積極的に行い、移住・定住の支援に取り組む。

(5) 審議

<各委員からの主な意見>

○「魅力と拠点性を活かした交流の促進」について

- ・**施策1** について、「新潟ならではの」文化として古町芸妓を例示しているのので、各区の地域資源についてもいくつか具体例を記載してはどうか。
- ・**施策1** において、情報発信の相手を意識していることがわかるよう、また、「様々なメディア」の具体的なイメージが湧くように表現を工夫してはどうか。
- ・**施策1** において、どのようなデータに基づき誘客活動を行うのか、具体的な調査内容を付け加える等の表現にしてはどうか。

○「新潟暮らしの魅力発信と移住・定住の促進」について

- ・**施策1** について、有給インターンシップをはじめとした就労促進の要素も表現できないか。
- ・政策指標において、様々な視点での新潟暮らしの魅力を測り、フィードバックできるような指標を検討してはどうか。